

長崎県立口加高等学校

グローバルコース 環境班

与茂作川日記

蛍が見られなくなった与茂作川の環境を復活させ、再び蛍を飛ばそうと研究を始めた。与茂作川が蛍にとって住みやすい環境なのかを調査したが立証はできなかった。しかし蛍は自生していた。今後も地域の方と協力しながら研究を続けていく。



長崎県立五島高等学校

五島高校五島環境部

なんか気候へんど〜？ 食い止める！ 気候変動！

「五島の海が綺麗な海ではなくなってきている」と感じる。海ごみ問題から気候変動は一つなぎの問題で、他の問題も関わる。そこで、海ごみと気候変動についての五島市高校生環境シンポジウムや五島市内の人たちとビーチクリーンを開催。



長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部

対馬市役所等と連携した絶滅危惧種の保護活動とボランティア

国内希少野生動植物種に指定の「ツシマウラボシジミ」と対馬在来種「ツシマジカ」の2つの生物の生育環境のバランスを整えることが最終的な目標である。また、日韓ビーチクリーンアップにも参加。現在の環境問題を肌で感じる場である。



熊本県立天草拓心高等学校マリン校舎

カヤノミカニモリの保全

熊本県「絶滅危惧ⅠB類」である海産巻貝カヤノミカニモリの保全を目指し、生活史の解明に取り組んできた。季節移動、食性、産卵時期についていくつかの知見を得て、現在は幼生の人工飼育に取り組む。立看板の作製・掲示によりカヤノミカニモリの生息地保全にも取り組んでいる。



熊本県立南陵高等学校

総合農業科環境コース

フウセンカズラで広がる緑の地域活性化プロジェクト

緑化植物フウセンカズラで、家庭の緑化活動啓発と地域活性化に取り組む。活動は、あさぎり町やくま川鉄道と連携したプロジェクト「ハートのオブジェの製作・設置」。お土産品の開発・販売。保育園児・小学生を対象とした植え付け体験教室。



宮崎県立都城工業高等学校

化学技術部

都城地区河川水質改善プロジェクトから始めた9年間の環境保全活動

大淀川と浄化装置「ひも状接触材」を設置した排水路の採水と水質検査を毎月継続して実施している。国土交通省主催の大淀川特別シンポジウムで、大淀川の水質について講演をした。地域への報告、発表、展示・説明の広報活動も行っている。



鹿児島県立市来農芸高等学校

ツバキ研究班

「家畜にも人にも優しい畜舎のあり方を考えて」をテーマにツバキを活用した臭気対策や、茶葉を採卵鶏に給餌して鶏卵の高品質化を目指して活動している。現在は動物福祉（アニマルウェルフェア）について研究を深めている。



鹿児島県立鹿児島水産高等学校

SAIKO

藻場再生におけるイカ資源の復活

指宿市若本沖で、ダイビングを活用した地域貢献活動としてガンガゼを除去。藻場再生活動を行っている。今年度、ガンガゼの生息数が少なくなり、藻場が広がったため、藻場に卵を産むアオリイカが増えてきた。地元漁業者から感謝されている。



鹿児島県立薩南工業高校

ESD研究班

持続可能な社会のために何をするべきか

3つの視点で活動を実践。①廃棄と付加価値。廃棄物の3Rに付加価値を考える取り組みを行ってきた。②地域。地域産業との関連、身近な資源を素材にもつくり取る。③伝える。高校生が小学生ら次世代に知識や経験を伝える。



鹿児島県立屋久島高等学校①

屋久島高校環境コース

課題研究

①「自然における人の心の変化について」、「屋久島の子どもたちと自然の関係」について屋久島の自然をセミナーを通して紹介した。②要注意外来生物であるシロノセンダングサについて「生育条件調査と適切な駆除方法」の調査をした。



鹿児島県立屋久島高等学校②

屋久島高校環境コース

口永良部島未来会議を通じた地域活性の取り組み

学生が島民の未来に対する思いを島民と話し、地元でできることについて考えるため口永良部島未来会議を開催。環境保全では、特に「海洋漂着ゴミの処理」をテーマとしてどのような取り組みができるかを話し合う予定。



沖縄県立沖縄水産高等学校

シーメンズクラブ

「豊かな海を守る」プロジェクト〜海ゴミとマイクロプラスチック問題の解決に向けて一歩踏み出そう〜

沖縄本島の天然ビーチ5カ所で漂流物調査。久高島、伊江島での漂着物とマイクロプラスチック調査。沖縄県実習船「海邦丸五世」で太平洋上の漂流ゴミ目視観測とマイクロプラスチック量調査、マグロ、ミズウオ、カジキの胃袋の内容物調査等。

